

事業所における自己評価結果(公表) 公表:令和6年1月9日 配布数 18 回収数 18 回収率 100%

事業所名 所沢市立かしの木学園

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点・コメント	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	8	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、職員、親がいると狭く感じる時がある。</li> <li>・人数によって部屋を増やして使う、活動の内容を変える等している。</li> <li>・利用希望者が全員入園するとスペースが足りない。</li> <li>・相談室を園児が療育や休憩スペースとして活用できるよう整理整頓をしている。</li> <li>・雨の日でも室内で思い切り体を動かせるようなホールのような場所があったらいいと思うが、現状の環境で活動を考えるしかない。</li> <li>・部屋を移動する(2部屋使う)などをし、スペースを確保している。</li> <li>・母子活動で大人も入ると狭い時あり(複数回答)。</li> <li>・曜日によって狭く感じる時もある。</li> </ul>	室内の安全・衛生に努め、整理整頓や物品配置の見直しを定期的に行っていきます。感染症対策として密にならない人員配置を調整していきます。
	② 職員の配置数は適切である	15	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多いくらいだと思う。余裕があるため年休を取りやすい環境だと感じる。</li> <li>・曜日によって多かったり、少なく感じる時もある。</li> </ul>	法令で必要とされる人員を配置していますが職員配置を調整して円滑なクラス運営を行えるようにします。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	13	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場が狭い。車いすやバギーを降ろすことが前提となっていない。</li> <li>・共同トイレ・手洗い場はクラス同士で重ならないように配慮をしているが、混む時間帯が生ずる。改築しない限り改善は難しい問題。</li> <li>・個々に合わせるの難しい。室内の余計な物は目に触れないよう片付けた方が良い。</li> </ul>	老朽化に伴い、必要な設備の改修・修繕については市に相談しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	16	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨漏りやエアコン不備など快適とはいえない部分がある。</li> <li>・定期的な消毒・清掃をしている。</li> <li>・雨漏りや空調の効きが悪かったりと設備としての不備を感じることがある。</li> <li>・工夫されている。</li> <li>・清潔には努めているが建物そのものが古く、改善した方が良い。</li> <li>・古いので掃除はしているが汚れたり古いところがある。雨漏りは早く改善してほしい。</li> </ul>	必要な設備の改修・修繕については市に相談していきます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	17	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画・実行・振り返り・改善の記録を残して実施している。</li> <li>・日常は行われているが長期スパンで見ると、3年くらいで正規職員が変わり保育の引き継ぎなどが不安。</li> </ul>	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議で評価を確認し、改善につなげている。</li> </ul>	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブログを定期的に更新していることで、外部の方々にもかしの木を知ってもらえて良い。</li> </ul>	評価結果をホームページにて公開する予定です。

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	18	0	0	・今年度下半期で実施する。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	18	0	0	・適切な内容の研修を受けることをすすめてくれたり受ける機会を積極的に設けてくれる。	作業療法士、臨床心理のアドバイザーを迎え定期的に職場内研修を行うとともに、外部研修やオンライン研修への参加も積極的に行っています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	18	0	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	18	0	0	・園独自に作成した発達カリキュラムを個々に持っていた情報を取りまとめ改訂した。	専門家のアドバイスを受け、適切なアセスメントツールの活用を検討していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	18	0	0	・ガイドラインをよく確認しながら進めている。	ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援計画を立案しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	18	0	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	18	0	0	・やりたいこと、やらなければいけないことが日々のミーティングでしっかりと話し合われている。	児童発達支援管理責任者、理学療法士、クラス職員で計画・立案しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	17	1	0		児童の特性に配慮したプログラム立案を心がけながら、季節に応じた活動や様々な感覚を取り入れた活動の提供をしています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	18	0	0		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	18	0	0		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	18	0	0		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	18	0	0		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	18	0	0		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	18	0	0	・会議が開催されない為、会議には参加していないが、モニタリングでは連絡をとって情報共有している。 ・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	18	0	0	・連携の質をもっと高めたい。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	17	0	1	・相談支援事業、行政を中心にして情報共有している。 ・年1回医療的ケア児情報交換会、・年1回医療的ケア児交流会を実施。 ・もう少し連携が必要。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	16	2	0	・保護者を通して行っている状況である。 ・協力医療機関:愛クリニック	今後は主治医及び嘱託医と連携を図り連絡体制を整えていきます。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	17	1	0	・卒園される子どもの引継ぎを訪問して実施している。 ・もっと必要だと思う。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	18	0	0	・卒園される子どもの引継ぎを訪問して実施している。	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	16	1	1		
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	15	1	・検討中である。 ・交流保育の実施を計画中。 ・これから交流する機会をつくっていくのかわからない。 ・コロナが落ち着いてきたところで実施を検討している。 ・コロナで今はない。 ・もっと積極的であるべき。	現在実施について前向きに検討しています。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	18	0	0	・所沢市自立支援協議会子ども部会への参加をしている。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	18	0	0	・連絡帳、電話、親子活動を通じて実施している。	
保護者への説明責任	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	18	0	0		
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	18	0	0		
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	18	0	0	・個別支援計画作成時の面談において実施している。	

等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	18	0	0		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	14	2	2	・保護者交流会・学習会を利用して支援している(複数回答)。 ・父母会がない。交流の場は作っている。 ・父母会はないが保護者同士の交流や掲示板を活用するなどして情報交換している。	保護者同士の交流の機会として、交流会等を今後も開催する予定です。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	18	0	0		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	18	0	0	・園だよりを毎月、かしの木だより(広報誌)を年3回発行。ブログは毎月更新。社協ホームページを利用して発信している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	18	0	0	・鍵付きキャビネットにて保管している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	18	0	0	・外国籍の保護者に対しては分かりやすい言葉でなおかつ連絡帳には読みやすいように平仮名で記入している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17	1	0	・コロナ禍で行っていないが、ボランティアの受け入れは行っている。 ・土曜開放あそぼう会を年3回実施。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	18	0	0		内部研修として救命講習会、不審者対応、感染症対応等マニュアルに準じた研修・訓練を実施しています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	18	0	0	年5回実施している。	年間計画に基づき年5回の避難訓練を実施しています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	16	2	0	・もう少しこまめに更新作業が必要かと思う。 ・十分とはいえない。	更新が適当な頻度で実施できるよう、実施方法について検討していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	17	1	0	・指示が必要であれば書面で頂いている。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	17	1	0	・ヒヤリハットを作成し提出しているが、回覧しない為全員周知になっていない時あり。	全体の周知と共に、回覧・閲覧をしやすい環境づくりを進めていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	18	0	0		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	18	0	0		身体拘束については個別支援計画に反映していきます。